



主な意見交換

今回は、「『秋の永山新川まつり』の意見・感想について」「『水辺のふれあい活動』参加・協力者募集状況について」「第6回開催テーマ『子どもの水辺ワークショップ』の素案について」などを議題に、活発な意見交換が行われました。



協議会の座長を務める加藤さん

『秋の永山新川まつり』の意見・感想について

- 初めて参加したが、地元の人々や子どもたちが幅広く参加し、他にない盛り上がりを見せたイベントとなった。
- 『さらら』2Fホールに子どもの水辺コーナーが設置され、地元の人々にもそれなりにアピールできたのではないかと。
- 今回は、動物とふれあえる機会が多く良かった。ただ来年は、川とふれあうコーナーをより充実させてみてはどうか。
- 野菜即売会などについては、収穫時期の兼ね合いもあるだろうが、もっと暖かい時期に開催できればなお良いのではないかと。
- 永山でこんな盛大なイベントがあるとは知らなかった。市としても今後PRに努めたい。
- 次回は、「子どもの水辺協議会」としても企画を仕掛け、積極的に参加していきたい。
- 「『さらら』に初めて来た」という地元住民が多く、地元永山でのPRがまだ不足気味かもしれない(10月開催ということで、他のイベントと日程が重なった可能性も高い)。今後は、

回を重ねるごとに地域へ周知徹底し、さらなる盛り上がりを期待したい。

- ポスター等の配布の反響として、数力所から永山新川まつりへの問い合わせが来ている。今後は既存配布先以外にも、広くPRを進めたい。

『水辺のふれあい体験活動』参加・協力者募集状況について

- 地元の父兄やNPOのお母さん方など、候補は多くいるが、子どもたちも部活やサークルなどで忙しいのが実情。そのため、「子どもの水辺に入会してもあまり拘束されない」というイメージを打ち出しつつ、アプローチを図る必要がある。
- 「都合のつく日だけ参加してくれば良い」という形でPRを進めるとともに、大学生等を対象に、「ボランティア活動の単位取得にも最適」などのメリットをアピールしては?
- 大まかな状況が把握できたので、今後はより積極的に動き、参加を呼びかけるための取り組みを進めていきたい。

第6回開催テーマ『子どもの水辺ワークショップ』の素案について

- 市民の生の声をざっくばらんに語り合ってもらおう場として、「川」とのふれあいをテーマにしたワークショップを開催したい。
- 今回まとめた開催概要案を煮詰めるとともに、ニュースレターやホームページ等での発信を通して協力者を募り、来年6月のむかわ町での「川の日ワークショップ全道大会」へと結びつけていきたい。
- 展開がやや性急な気もする。頭でっかちにならぬよう、具体的な取り組みから着実に盛り上げていくべきでは?
- 次回の協議会は、協議会自体がイベントを仕

掛けるのではなく、NPO等の自主的活動を後押しし、サポートしていくためのスタンスや、活動のポジショニングを考える勉強会としてはどうか。

- ワークショップ自体、むかわ町での全道大会参加のみが目的なわけではない。例えば永山のように、夕陽を見ながら堤防の上をのんびり散歩できる街は他に少ない。今年6月の体験イベント同様、気軽に話し合える雰囲気ワークショップにするとともに、旭川以外の住民が感じる新鮮な感動について、地元の人々と語り合ってみよう。
- 確かに、旭川に長く住んでいると、地元の良さに麻痺してしまう点はあるかもしれない。その意味でも、市民に川との関係を再発見してもらおう場として、ワークショップの意義は大きいと思う。
- ワークショップと同時並行で、今日のまつりのような体験型イベントを展開すれば、もっと人も集めやすくなるのでは?
- 単にチラシを配るだけでは、なかなか人は集まらない。これをきっかけに、いろいろな人の所へ直接訪問する必要も出てくる。
- 永山東小学校の皆川校長にお願いし、親子を対象とする話し合いの機会や、実地検証などの場を設けていくのが望ましい。
- 次年度の小学校のカリキュラムや総合学習に組み込んでもらうため、具体的な話し合いや調整を進めるとともに、カリキュラムの大まかな叩き台を提出する必要がある。
- 「市民との交流」が今年の最大のテーマ。市民・地域レベルの交流をさらに進めるため、地域のキーパーソン等に交渉のパイプ役をお願いしては?
- とにかく、永山の人々を中心に、いろいろな意見が聞ける、楽しいワークショップを開催したい。
- 今回の意見に則って修正を図りつつ、今後、詳細なプログラムを作成していきたい。



永山新川まつりの手応えについて語る「NPO法人水と緑のふるさと永山を育てる会」の佐藤事務局長



「何でも気軽に話し合えるワークショップにしたい」と語る旭川開発建設部 治水課の羽山課長補佐



「旭川市民として、川を再発見する機会が必要」と語る旭川市土木部 公園みどり課の森主査



「地域の人々に広く意見が聞けるワークショップを」と、(財)旭川河川環境整備財団の富所専務理事

『さらら』2Fに、「ながやま子どもの水辺」コーナーが設置されました!

「川のふるさと交流館・さらら」2Fホールに、「ながやま子どもの水辺」の目的や活動内容を紹介したコーナーが設置されました。お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

